委員会の審議結果（要旨）

１．大気環境（騒音、振動、粉じん等）・水環境（土砂による水の濁り）

・騒音・振動・粉じん、土砂による水の濁りについては、概ね基準値を下回っていた。

【審議結果】

・津軽ダム建設工事に伴う影響は、ほとんど無いと思われるが、今後も調査を継続実施する必要がある。なお、モニタリング結果の取りまとめにあたっては、より詳細に分かるように、さらに工夫すること。

２．動物

○ユビナガコウモリ

・目屋ダムの仮排水路トンネルに生息していたユビナガコウモリについて、平成２１年１月に人工の生息施設（コウモリボックス）へ全頭移転した。

・移転直後の冬眠期はコウモリボックスに一時的に定着した

・その後は、あまり定着していない状況となっているため、改善策として、平成２２年１０月に、ボックス内に遮光板等の設置など生息環境の改善を実施した。その結果、再定着が確認された。

・平成２３年１０月下旬・１１月上旬の調査では、ボックス最奥部でねぐら利用が確認された。利用個体数は、昨年の同時期より増加した。

【審議結果】

・利用個体数が増加する兆しが見られ、ユビナガコウモリの保全措置について、一定の効果があったと考えられるが、さらに定着するまでには、ある程度の期間が必要と考えられることから、今後も引き続き生息状況を見守る必要がある。

○森林性コウモリ

・今までに確認されている重要な森林性コウモリ類について、生息状況の現況把握を行った。

・その結果、今回も森林性コウモリ類の生息が確認された。殆どが付替県道より山側で確認されていることから、付替県道より山側が主要な生息環境となっていると考えられる。

【審議結果】

・引き続き、調査範囲の検討も含め、生息状況のモニタリング調査を実施する必要がある。

○エゾウグイ

・Ｈ２３年にエゾウグイの現状の産卵場及び湛水後の産卵適地について湯ノ沢川、大沢川、大川、暗門川で分布状況を調査した。

・調査の結果、湛水後、現状の産卵場の一部は水没するが、既存の堰堤が水没することにより、一部の河川では産卵適地が新たに創出される。

【審議結果】

・引き続き、生息状況についてフォローアップ調査が必要である。

３．植物

○移植植物

・平成１９～２２年に直接改変を受けるミクリ・ノダイオウ・ミチノクサイシンについて８箇所に移植した。
・平成２３年の生育状況調査では、ミクリは３箇所の内１箇所について生育状況が良好であったが、２箇所について生育環境が変化したと考えられたため、水路の改良を行い生育環境の改善を図った。
・ノダイオウは、４箇所の内２箇所について株数が増加したものの、２箇所についてヨシの繁茂により生育不良が確認されたため、ヨシの刈り取りを実施した。
・ミチノクサイシンは、順調な生育が確認された。

○移植作業

・平成２３年は直接改変を受けるノダイオウ・ミチノクサイシン・テイネニガクサ・サルメンエビネについて、６箇所に移植した。
・また、ミチノクナシは接木による保存作業を行った。

○監視対象植物

・改変部周辺に生育するフジカンゾウ・ミチノクサイシン・ヤマシャクヤク・テイネニガクサ・サルメンエビネや、下流河川沿いに生育するノダイオウ・ハイハマボッスについて、生育状況を調査した。
・平成２３年は多くの生育箇所では、生育状況に大きな変化はなかったが、テイネニガクサは１箇所について、生育環境の変化が確認されたため、移植を行った。

【審議結果】

・今後、生育状況をモニタリングしながら、必要に応じて、生育環境の改善を図っていくことが必要である。

○特定外来生物の駆除

・平成２３年は特定外来生物（オオキンケイギク・オオハンゴンソウ）について、分布拡大を防止するために、可能な限り駆除を行った。

４．湿地環境の保全

・多様な動植物の生息環境として、今後保全・整備する湿地環境について、整備内容の素案を検討した。

【審議結果】

・今後、湿地環境の保全・計画の検討にあたっては、関係機関との連携した維持管理方策等も含め、さらに検討を進める必要がある。
・また、整備構想について、どの様な湿地環境を創出するのか、今後より具体的に詰めること。

５．生態系（猛禽類）

・平成２３年に開催した津軽ダム猛禽類検討委員会での調査結果を報告した。

６．フォローアップ調査計画

【審議結果】

・今後のフォローアップ調査計画については了解された。

津軽ダム環境検討委員会　委員名簿

第7回　津軽ダム環境検討委員会　委員名簿				
専門	氏名	所属	役職	備考
魚類・河川生態	東　信行	弘前大学	准教授	
水環境	海田輝之	岩手大学	教授	
底生動物	大高明史	弘前大学	教授	
鳥類	小笠原暠	秋田大学	名誉教授	
陸上昆虫類	工藤　忠	日本蝶類学会	理事	
水生昆虫・河川生態	谷田一三	大阪府立大学大学院	教授	
は虫類・両生類	奈良典明	弘前大学	名誉教授	欠席
植物・付着藻類	原田幸雄	弘前大学	名誉教授	委員長
地形・地質	檜垣大助	弘前大学	教授	
哺乳類	向山　満	コウモリの保護を考える会	理事長	

※五十音順